

一般質問

消防団消防施設等の更新計画について



大塚 正義 議員



**質問**…消防ポンプ自動車及び小型動力ポンプ積載車の更新計画について伺います。

**答弁**…本市では、消防ポンプ自動車を42台、小型動力ポンプ積載車を13台保有しています。令和5年4月1日からの組織改編により、13分団55部から11分団48部に変更となり、消防車両は現在の55台から52台に削減し、防火、防災体制を取ることとし

ています。車両の更新については、財政負担を平準化するため、古い車両から順に更新するよう計画を立て、更新時期の目安として消防ポンプ自動車を20年、ボンネット型のポンプ自動車にあつては17年としています。車両の状態が良好であれば継続して使用するなどの対応をしています。令和6年度以降は、車両の状態を確認しながら計画的に

更新を進めていきたいと考えています。現在は、該当する補助金がなく、地方債を活用して購入をしています。

**質問**…搭載型の小型ポンプ機器の更新計画を伺います。

**答弁**…本市の更新計画においては、車両と搭載型小型ポンプ機器を一体で更新することとしていませんので、個別の更新計画はありません。



深澤 正夫 議員



市長公約の「歴史を生かした観光地づくり」について

**質問**…市長はいつ頃までに、どのような施策で、進捗させていくのか伺います。

**答弁**…国指定史跡の上下侍塚古墳やそれらの成立に関わる古代の道、東山道駅路など、本市が特色ある歴史、文化の中でも重要な埋蔵文化財が集中すると推定されているのが湯津上地区です。本市では、東山道駅路やその付属施設である磐上駅家の所

在を明らかにし、それらを保存していくため、令和元年度からの5年計画で発掘調査を実施しています。また、栃木県事業となりますが令和3年度からの5年計画で侍塚古墳に関する発掘調査が実施されています。上侍塚古墳では二重口縁壺上部が形を留めた状態で出土し、更に装飾文様「棒状浮文」や二列の円形浮文の土器片も発見され、こ

のうち二列の円形浮文については、県内において初めて確認され、新聞報道等で大きく取り上げられています。同様のものは奈良県桜井市のホケノ山古墳で出土しており、この大田原の地と奈良県との関連性についても興味を持たれているところであり、歴史的な遺産が多く存在する湯津上地区は、より一層全国から注目を集めています。